

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	スナック（経営者）	来客数の動き	・5～6月と地元の名刹の大きなイベントがあって、県外からの入込客がかなりある。新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いてきたので、久しぶりにとても忙しくなっている。
	◎	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・県民割は前年から継続しているが、冬季は割引があっても新型コロナウイルス感染症が流行していたため、全く客がいなかった。ここにきて新規感染者数が減少し、また、感染したとしても軽症で済むようになったため、県民割を利用して旅行する方が急激に増えている。それでもいまだに団体旅行がないため、売上は例年の70%程度しかない。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除されてからは、毎日、先の予約が増加し、フリー客の利用増加もあって順調に良くなってきている。また、ブロック割が、一層の利用客増加に寄与している。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・3か月前と比べて、企業、団体が主催する宴会、懇親会付きの宴会が2倍以上に増えている。
	◎	遊園地（職員）	来客数の動き	・3か月前と比べれば、来客数は減少している。一方で、6月は前年比123%と上回っているため、景気判断は良くなっている。6月は新アトラクション建設のため、メインアトラクションが休止となり、厳しい状況だが、音楽やコラボイベントの実施で、来客数を獲得することができている。
	○	商店街（代表者）	販売量の動き	・学校でクラブ活動が始まったようである。今年の1年生たちがクラブへ入るかどうかという疑問もあったが、いざ活動が始まると、やはり体操服等が用意しただけでは足りず、追加注文があり、驚いている。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少とブロック割で、人の流れが目に見えて増えている。
	○	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・猛暑で夏物商材の動きが良くなっているが、商材不足で思うほどは伸びていない。
	○	百貨店（店長）	販売量の動き	・前年を割らなくなってきている。
	○	スーパー（経営者）	来客数の動き	・前年比で売上は2%増、来客数は8%減となっている。新型コロナウイルスの感染状況も落ち着き、経済活動も活発になりつつある。今日も県法人会の会議があり、8月に120人規模の「納涼パーティー」を開催することが決まった。新規感染者が増えれば中止の可能性もあるが、地元名刹の祭礼が6月末で終わっても、今後もいろいろなイベントを開催しながら、経済が回復することを期待している。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況も大変良くなり、割と気楽にいろいろなことができる状態になり、会合等も多くなっている。とにかく暑いので、冷たい商材が売れてきており、状況は良くなってきている。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・梅雨明けが早く、客が外出し始めている。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・気温が上がり、飲料等の購入単価も上がってきている。
	○	コンビニ（店長）	販売量の動き	・3か月前に比べれば若干売上は増えているが、ようやく前年並みに近づいた感じなので、余り芳しい状況ではない。新型コロナウイルス感染症に関連する制限は大分緩くなってきているが、それで変わってきているということはなく、天候等のわずかな変化の影響で、若干良い推移をしているだけだと思う。
	○	家電量販店（店長）	来客数の動き	・季節商材の需要が拡大してきている。
	○	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車購入目的での来場が増えてきており、前年と比べて新車受注の伸長も大きくなってきている。
○	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検、一般整備は若干だが目標を上回っている。車両販売は半導体不足の影響により、新車の納車予定がはっきりしないなかでも、契約する客が増えてきている。しかし、新型コロナウイルス発生前と比べたら、全体的な数字はまだ戻ってきていない。	

	○	自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・物価が上昇してきている影響か、客単価も上がってきている。来客数も一時期は前年割れだったが、今は前年を超えており、景気が良くなってきている。
	○	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・当地の新型コロナウイルス新規感染者数が増加に転じ、更に農繁期とも重なったことから、6月の客足は少ない。しかし、7月に入れば土用の丑の日も控えていること、6月後半からは宴会予約も1組当たりの人数も増えてきているので、期待が持てる。
	○	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数もかなり減少傾向にあり、人が街に出やすくなっているのではないかと感じる。
	○	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が下方に向かっていることもあり、3か月前と比べて、団体旅行の相談等は相変わらず少ないものの、個人客や家族での来客数や旅行申込みが増加してきている。
	○	タクシー運転手	販売量の動き	・3～6月は前年並みまでには下がらず、108～109%くらいで進んでいる。名刺のある中心街のタクシー会社は、祭礼があったため、ここ2～3か月は大分良いようである。
	○	観光名所（職員）	来客数の動き	・来客数が増加しており、アフターコロナ時代に突入したと感している。
	○	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・今月も葬儀の相談は多かったが、墓じまいや粉骨の依頼も多くなっている。
	○	設計事務所（職員）	来客数の動き	・計画物件依頼数は増えている。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況は収まったものの、警戒心は変わらない。人出は全くなく、閑散とした日が続いている。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・梅雨が明け、猛暑の毎日でエアコンの動きが良くなり、オールシーズンを考慮したスペックの高い商材が動いている。商材不足はあるものの、取りあえず順調に進んでいる。ただし、全ての物が値上がりしていることに伴い、必要ない物への出費は控えている様子がうかがえる。
	□	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・人の動きはなく、消費意欲もない。
	□	スナック（経営者）	お客様の様子	・毎回同じような回答になるが、新型コロナウイルス感染症の影響かどうか何ともいえないが、良くなるような要素は1つも無い。本当に地方は困っている。
	□	通信会社（経営者）	お客様の様子	・節約志向なのか、徐々にではあるが他社の割安なコースへ移行する家庭が増えてきている。
	□	通信会社（社員）	販売量の動き	・有料テレビがインターネットの動画配信サービスへシフトしており、パック商品の販売が低調である。
	□	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・ゴルフ場への来客数は、前年度に引き続き堅調である。
	□	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いており、徐々にではあるものの、団体客が戻ってきている。しかし、全体的には厳しい状況が続いている。
	□	その他サービス〔クリーニング〕（経営者）	それ以外	・景気は相変わらず良くない。そして、インフレ、原油高騰、いろいろな物価が上昇して大変厳しい状況のなかで、更に厳しくなっている。
	▲	スーパー（経営者）	来客数の動き	・引き続き、来客数は減少しているものの、客単価上昇分で相殺されている。仕入原価は上昇している。
	▲	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・諸物価の高騰や一時的な販売好調の反動等から、別荘の販売量が減少している。
	×	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・ウクライナ問題と物価高騰、この夏の暑さ、これらの点でかなり厳しい。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	*	*	*
	○	食料品製造業（営業統括）	競争相手の様子	・来県者数も多くなってきて、工場への来場者も徐々に回復しつつある。また、業務関係の出荷状況も、新型コロナウイルス発生前の水準近くまで、回復しつつある。
	○	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況も落ち着きを見せ、受注は前月比で増加傾向にある。

	○	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注はある程度確保できているものの、特に、木材の値上がりが続いており、製品の納入遅れを心配している。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・特注受注で一時的に動きはあったものの、受注量等は依然として低迷している。
	□	金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業は半導体関連の需要が堅調なものの、自動車関連で生産調整の動きがみられる。非製造業では、地元名刹の祭礼等のイベントにより観光関連の需要が増加したが、県全体への波及はやや弱い。
	□	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・原油高や円安の影響によるコスト増に加え、新型コロナウイルス感染症による社会経済活動の停滞で、先行き不透明感がある。
	▲	その他製造業 [宝石・貴金属]（経営者）	受注量や販売量の動き	・催事では来場客が順調に増えており、売上が前年実績を超える機会も多くなっている。しかし、来場客が50%以上増加しても、購買意欲のない客が多く、購入額は前年の20%増加程度にとどまるなど、購入率は明らかに低下している。客は楽しみとしてジュエリーを見に催事に来てくれてはいるが、旅行や食事会等の身に着ける機会が少ないことから、購入につながらないようである。
	▲	新聞販売店 [広告]（総務担当）	それ以外	・燃料価格の高騰が様々な物価高を招き、消費が冷え込んでいる。また、いつ終わるか分からないロシア、ウクライナ問題が、先への不安要素となり、取引量に影響している。
	×	食料品製造業（製造担当）	それ以外	・全ての仕入商材価格が上がっているが、当社の商材原価はいじっておらず、利益が取れない状況にある。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・電子部品の入荷が止まり、受注量が減っている。休業もやむを得ない状況である。
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・業種にもよるが、新型コロナウイルスの感染状況を見据えてWithコロナで景気回復に向かう風潮から、求人が出てきている感触がある。また、製造業や介護分野での人手不足に対応するため、派遣や請負の求人も増加している。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数は5月末時点で、14か月連続で前年同月比で増加している。新型コロナウイルス感染症の影響による巣籠もり需要や、しばらく受注が落ち込んでいた企業でも、まん延防止等重点措置の解除後は製造業を中心に受注が回復したこと等から求人は増加している。ただし、新型コロナウイルス禍前の状況までには回復していない。
	□	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・相変わらず、求職条件のハードルを高くして仕事に就けない方が多い。当たり前のことだが、正社員を中心に就職活動をしていて、正社員ということだけで仕事を探すので、うまくいかないことが多い。試用期間中に退職して相談にくる方が後を絶たない。
	□	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・ウクライナ情勢や中国上海のロックダウンにより、資材が入手しにくくなっているなか、製造業では、物価高騰により上昇した価格を商材に反映できず、据置きのまま対応せざるを得ない状況に、苦慮している。また、海外からの調達部品も入手できず生産が減少しているため、夏のボーナスに影響が出始めている。
	▲	—	—	—
	×	—	—	—